

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0206	政策名	健康づくりの推進	施策主管課	地域医療対策室	課長名	長山 義博
政策の目指す姿	心身ともに健康に暮らしています						
施策No	03	施策名	地域医療の充実	関係課名	健康づくり課		
施策の目指す姿	安心して必要な医療を受けています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、かかりつけ医などを持つ市民の割合は約7割から8割に増加し、また、病診機能の仕組みを理解している割合も約8割となっており、おおむね周知が図られています。 ・地域医療連携の推進に資する岩手中部地域医療情報ネットワークへの市民の参加数は、約7,000人と市民の1割未満となっています。 ・岩手中部保健医療圏でも、周産期医療を支える医療機関の減少により、市民がお産場所を確保することが難しくなっていると感じています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医を持つことや病診連携の仕組みへの理解が高まってきていると考えられますが、限られた地域の医療資源を有効かつ効率的に活用して地域医療を維持・確保するため、市民にさらに周知するとともに、医療の関係機関と連携していく必要があります。 ・岩手中部保健医療圏における周産期医療の維持を図るとともに、岩手中部保健医療圏外における周産期医療施設の活用を考える必要があります。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・総合花巻病院の旧病院施設の解体と市への土地売却を進めるとともに、地域医療における総合花巻病院の在り方等について病院との協議を継続していく。

・病診連携とかかりつけ医などの普及啓発については、各種健康セミナーや出前講座などで積極的に実施していく。

・岩手中部医療情報ネットワークシステムについては、事務局をはじめ中部医療圏域の北上市・遠野市・西和賀町と加入促進に向けた取組と事業運営について協議しながら、医師会を通じた施設への加入促進のほか、広報やイベント等の機会を捉え、市民に周知を図る。

反映状況

・総合花巻病院の旧病院施設等に充てられた国の補助金の取扱について、国から回答を得られず、解体に着手されなかったが、病院運営に関することも含め、情報の共有・協議を行いながら事業の進捗を図った。

・病診連携、かかりつけ医などの仕組みについて、例年は各種検診のほか各種健康セミナーや出前講座などでも普及啓発を行っていたが、新型コロナウイルス感染症予防のため講座等が中止となった。また、新型コロナウイルスの検査・治療の仕組みは特異で通常の病診連携の流れと異なっていたことから、新たな普及はあまり進まなかった。

・岩手中部医療情報ネットワークについて、広報はなまきやコミュニティFMなどを通じて住民への加入促進を行ったほか、構成市町から同ネットワーク事務局へ、各市町医師会など構成団体を通じて参加施設の促進を働き掛けるよう要望した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1)地域医療体制の推進
- ・病診連携に関する普及啓発とかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師に関する情報提供
 - ・市ホームページへの掲載による啓発（各種健康教室やセミナーでの情報提供は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - ・医師会、歯科医師会や薬剤師会、医療機関等との連携
 - ・健康づくり推進協議会及び医師会、歯科医師会との懇談会、予防接種や検診等部門別の懇談会（書面開催含む）の開催
 - ・休日当番医の実施と休日歯科診療所の運営
 - ・医師会及び歯科医師会への委託運営
 - ・病院群輪番制や二次医療機関への支援
 - ・中部地域病院群輪番制病院（県立病院を除く）への運営費補助及び総合花巻病院への病院群輪番制当番日以外の休日・夜間診療体制整備に補助
 - ・医師及び助産師等の確保対策
 - ・市内産科医療機関へ就職した助産師等に対し、補助金を支給
 - ・岩手中部地域医療情報ネットワークによる地域包括医療体制の構築
 - ・岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会事務局運営費の補助及び同協議会にオブザーバー参加、同協議会との運営協議
 - ・高度医療を担う医療機関への交通手段の確保
 - ・花巻市内と岩手医科大付属病院とを結ぶ連絡バスの運行経費補助（バス車両の貸与含む）
 - ・岩手中部保健医療圏における周産期医療中核病院の維持と妊産婦の周産期医療機関へ通う際の交通費支援
 - ・妊産婦に対する妊婦健康診査、出産、診療のための交通費一部補助
 - ・岩手中部保健医療圏及び他の二次保健医療圏の医療施設へ妊産婦を搬送するための救急車の活用と情報提供
 - ・市内産婦人科へのチラシ設置、市ホームページによる周知

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
かかりつけ医を持っている市民の割合	県内の医療提供体制は、地域の各医療機関の医療機能や役割分担を明確にしたうえで患者が一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を受けられるようにすることを基本としている。かかりつけ医による診療は、地域医療サービスの入り口であることから、患者がかかりつけ医を持っていることを測ることで、地域医療に関する施策が市民にとって実効性のあるものとなっているかを測ろうとするもの。	出典：市民アンケート 問：あなたは、現在かかりつけの医療機関や医師をもっていますか。 (1)もっている (2)もっていない (1)と答えた市民の割合	%	目標値 実績値				79.00 73.20	80.00	80.00
かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	県内の医療提供体制は、地域の各医療機関の医療機能や役割分担を明確にしたうえで患者が一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を受けられるようにすることを基本としている。かかりつけ歯科医による診療は、地域医療サービスの入り口であることから、患者がかかりつけ歯科医を持っていることを測ることで、地域医療に関する施策が市民にとって実効性のあるものとなっているかを測ろうとするもの。	出典：市民アンケート 問：あなたは、現在かかりつけの歯科や歯科医師をもっていますか。 (1)もっている (2)もっていない (1)と答えた市民の割合	%	目標値 実績値				79.00 72.80	80.00	80.00
いわて中部ネットに参加している市民の数	「いわて中部ネット」は、病院と診療所等が患者の診療情報等を共有し、市民が切れ目なく診療や介護サービスを受けられるようになるもので、市民がネットワークに参加することは「かかりつけ医」等を持つ契機となることから、市民が「いわて中部ネット」へ参加する人数を測ることで、地域医療に関する施策が市民にとって実効性のあるものとなっているかを測ろうとするもの。	NPO法人岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会が集計する花巻市民の「いわて中部ネット」への参加登録者数	人	目標値 実績値				8,000.00 7,987.00	9,000.00	9,000.00

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「かかりつけ医を持っている市民の割合」・・・【達成度b】 啓発の効果が大きい各種健康教室やセミナー等でのチラシ配架が、新型コロナウイルス感染拡大防止のためセミナー等が中止・縮小したことにより、従来の啓発が十分に実施できなかった。また、コロナへの対応において、医療機関では従来の病診連携の仕組みが機能しない状況が生じ、市民の受診控えもあったことから、「かかりつけ医」の認識が薄れたことも原因ではないかと懸念される。</p> <p>成果指標「かかりつけ歯科医を持っている市民の割合」・・・【達成度b】 各種歯科検診事業を通してかかりつけ歯科医の啓発・普及を行ったが、コロナ禍において歯科検診を安定的に実施することができず、啓発の効果も薄れたものと推測される。また、コロナ禍において市民の歯科診療の受診控えもあったことから、「かかりつけ歯科医」の認識が薄れたものと思慮される。市民の受診控えもあったことから、「かかりつけ医」の認識が薄れたことも原因であると予想される。</p> <p>成果指標「いわて中部ネットに参加している市民の数」・・・【達成度b】 ネットワーク事務局および構成市町（花巻市・北上市・遠野市・西和賀町）において広報誌への掲載やコミュニティFMを通じて住民へ周知・参加啓発を行ったことにより、目標値には達しなかったものの、ほぼ目標値に近い加入者数となった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（地域医療ビジョン推進事業費）医療情報ネットワークは、加入する施設・市民が増えるほど利用価値が増加することから、住民への参加啓発と合わせて同ネットワーク事務局が中心となり、施設の加入促進を構成団体を通じて進める必要がある。 ・（救急医療確保事業費）成果はこととなっているが、休日当番医、休日歯科診療、夜間・休日における輪番制病院の利用者数は、多ければ多いほど成果が高いとは一概には言えず、市民が休日・夜間に診療に応じれる体制を構築するものであり、維持が必要である。
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・病診連携の取組みを進めるため、病診連携の仕組みとかかりつけ医の必要性について、さらに市民に対して普及啓発を行う必要がある。 ・医療情報ネットワークの価値を高め、活用が進むよう、施設と住民の参加をさらに促進する必要がある。 ・市内においては、令和元年度から産科医療機関が個人クリニック1件のみとなり、その産科医療機関も助産師等のスタッフが不足している。安心して出産できる環境を充実させるため、産科医療機関に必要な医療スタッフの確保や妊産婦が市外の産科医療機関へ通うための支援が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・通常の病診連携の枠組みとは異なる新型コロナウイルス感染症の検査や治療、ワクチン接種が行われる中ではあるが、病診連携の仕組みとかかりつけ医などを持つことについて、各種検診などの機会をとらえ、普及啓発を進める。 ・岩手中部医療情報ネットワークシステムについては、事務局をはじめ中部医療圏域の北上市・遠野市・西和賀町と加入促進に向けた取組と事業運営について協議しながら、広報やイベント等の機会を捉えて市民に周知を図るほか、構成団体を通じて施設への加入促進を図る。 ・市内産科医療機関への助産師・看護師の就職を支援する補助事業を継続するとともに、妊産婦交通費支援についても継続していく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	地域医療ビジョン推進事業費 病診連携の普及啓発 (岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会補助金：6,024千円)	地域医療	一致	直結	B
			A		
011	地域医療ビジョン推進事業費 市町村医師養成事業に負担金を拠出 (負担金額：6,884千円)	地域医療	間接・少数	直結	B
			B		
030	救急医療確保事業費 日曜祝日の休日当番医を実施 (休日当番医の受診者数：2,690人)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
031	救急医療確保事業費 休日歯科診療所を開設 (休日歯科の受診者数：346人)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
032	救急医療確保事業費 夜間・休日の二次救急医療を確保 (輪番制病院の利用者：713人(総合花巻病院 279人、北上済生会病院 434人))	地域医療	一致	直結	C
			A		
040	助産師等確保対策事業費 市内の周産期医療体制の確保のため、市内産科医療機関に就職した助産師等へ補助 (制度を利用し、市内産科医療機関に就職した助産師等 2人)	地域医療	間接・少数	直結	B
			B		
050	妊産婦交通費支援事業費 妊産婦が産科医療機関を利用する際に要する交通費を一部補助 (ハイリスク妊産婦 17人、ハイリスク以外の妊産婦 28人)	地域医療	一致	直結	-
			A		
060	臨時診療所運営事業費 PCR検査を行うことができる臨時診療所(地域外来検査センター)の開設・運営	健康づくり	一致	直結	-
			A		